



## 編集雑記

## 既刊案内 (特集・主要記事)

### [ 4月号 ]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No17] 東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻 都市環境工学講座 水環境制御研究室 准教授 春日郁朗氏を訪ねて 縮小の時代にこそ都市工学の原点に立ち返る 技術の社会実装を目指して…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「建設業働き方改革加速化プログラム」を策定…国土交通省 ◎海外社会資本事業への我が国事業者の参入の促進に関する法律案…国土交通省 ◎環境経済観測調査(環境短観)平成29年12月調査確報値…環境省 ◎平成30年度地球温暖化対策関係予算案について…環境省 ◎防災カードゲーム「このつきなにおきるかな?」Newリリース!…国土交通省 ◎官庁官繕事業に係る電子納品要領等を改定…国土交通省 ◎1級管工事施工管理技術検定試験[実地試験]の合格者を発表…国土交通省 ◎2級管工事施工管理技術検定試験の合格者を発表…国土交通省 ◎都市再生特別措置法等の一部を改正する法律案…国土交通省 ◎「ダムを見に行こう 春号2018」リリース…国土交通省 ◎地震災害に備え、人口減少下の水道の安全・安心に向けて(その2)…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「明日への道標」いつか漂着するまで…水野成夫とフジサンケイグループ…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎「トビックス」丹保憲仁氏(北大15大総長)が前人未踏の講演会 ◎「東京ブラリルポ」雑司ヶ谷から目白界隈へ…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎建設業における完成工事高調査…配管システム研究会 ◎「新連載」見てきたような話④ 紳士は金髪がお好き(1)…低空飛行機 ◎新・撮った写真が5万枚!?◎…IDE研究所 いてこうじ ◎「トビックス」トイレプース工事で特別研修…(株)岡本 ◎「LaCoon」新提案TOTO便器とセット販売…コマニー(株) ◎建築着工統計(2018年1月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

### [5月号]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No18] 北海道大学大学院工学研究院 環境創生工学部門 水代謝システム分野 水環境保全工学研究室 准教授 佐藤久氏を訪ねて センシング技術を柱に衛生・環境工学の新たな展開を図る ルーツはあくまで土木工学…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「建設キャリアアップシステム」を活用した技能者の能力評価制度の方向性について中間的とりまとめを行いました!…国土交通省 ◎「中小企業の災害対応の強化に関する研究会」の中間報告書を取りまとめました…経済産業省・中小企業庁 ◎平成28年度における浄化槽の設置状況等について…環境省 ◎平成28年度大気汚染状況について…環境省 ◎「カーボンプライシングのあり方に関する検討会」の取りまとめについて…環境省 ◎環境省 再エネ加速化・最大化促進プログラム 2018年版…環境省 ◎発注者のあり方について今後の方向性をとりまとめ…国土交通省 ◎第五次環境基本計画の閣議決定について…環境省 ◎働き方改革の推進に関する行動計画…(一社)日本空調衛生工事業協会 ◎「明日への道標」美に愚かれたオリンピック…レニ・リーフェンシュタールの罪…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎「新連載」見てきたような話⑤ 紳士は金髪がお好き(2)…低空飛行機 ◎「東京ブラリルポ」東京ミッドタウン日比谷…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎商業建築における空調設備配管の管種選定動向(1)…配管システム研究会 南宗庵 ◎新・撮った写真が5万枚!?◎…IDE研究所 いてこうじ ◎「トビックス」トイレプース工事で特別研修…(株)岡本 ◎「LaCoon」新提案 TOTO便器とセット販売…コマニー(株) ◎建築着工統計(2018年2月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

アメリカンフットボールの試合で危険なタックルをした日大の選手が監督の指示でやったと記者会見で告白した。監督とコーチは翌日の緊急会見で全面否定した。告発した選手は命令に逆らわなかった自分の非も認めて謝罪している。わたしは彼の潔い姿に「<sup>あやま</sup>過ちて改むるに<sup>はばか</sup>憚ることなかれ」という『論語』の一節が生かされていると感じた。

仁義礼節を説いた『論語』には「過ちて改めざる、これを過ちという」という格言もある。自己保身に汲々として過ちを認めようとしない悪しき風潮は昔から後を絶たない。森友・加計学園への<sup>ぞんたく</sup>忖度問題で公文書の改竄を主導した元国税庁長官や根拠を示さず疑惑を否認する元首相秘書官らは社会に蔓延している道徳的退廃の象徴だ。

16世紀から18世紀のフランスではモラリストと呼ばれた一群の思索家たちがいた。モンテーニュの『エセー』、パスカルの『パンセ』、ラ・ロシュフコーの『箴言録』など随想、寓話、警句などのスタイルで道徳に関する考察を深めた。草分けのモンテーニュは「魂が真の目標を持たないとき、いかに偽りの目標に激情を注ぐことか」と人間の愚かさを凝視した。真の目標は真実、偽りの目標は虚偽と読みかえてもいいだろう。

本来は保険関係の用語だったモラル・ハザードは保険をかけることで注意を怠り、事故や災害や犯罪の発生率が高まるという逆説的な現象を意味している。いくらシステムを強化しても意識が変わらなければ意味はない。モラリストの言うように最後は人間の魂の問題に帰結する。(高倉)

### 給排水・環境設備の総合誌

月刊「コア」第343号

平成30年6月1日発行 定価1,000円(本体926円)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884